

第3学年探究学習の中間報告及び探究学習の指導手順

1 はじめに

本校では令和7年度から研究開発学校として45分授業を展開し、生徒の主体的・対話的で深い学びをより一層保障する枠組みとして、「自己選択学習の時間」を年間35時間程度設定し、全校体制で教育活動に取り組んでいる。

第3学年においては、中学校生活の集大成として、生徒一人一人が自身の興味・関心を掘り下げ、自ら問いを立て、その解決に向かう「探究学習」を自己選択学習の中核に位置付けて実践を進めてきた。

本報告書は、第3学年校内研究担当として、これまで生徒に取り組ませてきた探究学習の進捗状況や生徒の変容、指導の実態を網羅的に取りまとめた「中間報告」である。同時に、実践の過程で得られた知見や成果並びに明らかとなった指導上の課題を分析し、今後本校において探究学習の指導にあたる教職員にとって実用的な一助となるよう、具体的かつ体系的な「探究学習の指導手順」をまとめたものである。本校では、昨年度の成果と課題を踏まえ、令和8年度から、自己選択学習の時間を年間35時間程度設定し、継続的に取り組んでいる。

2 第3学年探究学習の中間報告

本校では、8時25分から8時45分までの15分間を自律の時間、共創の時間として設定し、裁量の時間として活用している。自律の時間では、自己調整や個人探究テーマの追究、共創の時間では、探究学習に必要なインタビューやアンケートなど学び合いの時間として設定している。

(1) 4月の実践

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
4月15日	・探究学習に関するガイダンス →今後の予定を示す。(※1)	・探究学習の必要性や進め方を理解する。

※1



探究学習

- ・自分の興味のあること、知りたいことについて、自ら問いを設定し、情報を収集して問いを解決していく学習
- ・単なる調べ学習ではなく、“なぜ?” “どうして?” “どうすれば?” という問いを自分で考える。
- ・問いを解決するために、文献(本や論文)を調べたり、アンケートをしたり、インタビューしたりして情報を収集する。
- ・その結果をまとめ、他者に発表する。

探究の進め方と今後の流れ

- ・4/16(木)から探究のテーマ決めを開始
- ・4/22(水)6時間目 全校ガイダンス
- ・5/7(木)までに探究のテーマを決定
- ・6/5(金)までに企画書(探究のやり方)を提出
- ・6/17(水)6時間目 中間発表
- ・7/10(金)までにスライドを完成
- ・夏休みに発表動画を提出
- ・9/4(金)本番発表
- ・10/9(金)振り返りレポートを提出

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
4月16日	・探究学習に関する冊子の配布と説明（※2） →<u>学校図書館支援員と連携し</u>、探究テーマの設定のコツや調べ方を示す。	・探究テーマの設定のコツや調べ方を学ぶ。

※2

マイテーマの探し方

図書館を「**アイディア探し**」の場所として使うことから始めましょう

- 広く眺める
- 本棚をざっと歩いてみて、タイトルを見て「おもしろそう!」と感じたものを手に取る。たとえば「昆虫」「哲学」「宇宙」「昔の暮らし」など。
- 気になったテーマの近くには、関連本が並んでいることが多い。
たとえば「日本刀」に関心を持ったら、すぐ横に「武士の暮らし」「戦国時代」などの本も置いてあります、
そこから「自分はどこに興味を持つんだろう?」と考えてみる。

- レファレンスブックをバラバラとめくってアイディア(単語)を探す
 百科事典ポプラディア
 写真集、図鑑
 広辞苑
 現代用語の基礎知識
 ニュース年鑑
 専門の事典など
- 気になる単語はメモをする。
- 自分の生活や将来の夢、興味関心があること、
不思議に思っていたことなどと関連付けて思考を深めていく。
- テーマ言葉を、いったん文章化してみる
 「●●と△△の違いを調べたい」や「○○が今の社会にどうつながっているか?」のように、疑問文にしてみると探究学習向きになります。

図書館や本屋さんをぶらぶらしてアイディアを探すことを「ブラウジング」というよ! 大学生や大人もよくやっている手法。インターネットで調べると同じような言葉を自動的に探してくれる仕組み(アルゴリズム)が働いてしまい「未知な言葉」に出会うのが難しくなります。そこが図書とインターネットの違いです。ネットと本、双方の情報を合わせると良いでしょう。

気になる言葉を書き出してみよう

研究テーマを具体的に決める

① 興味を持ち、人に伝える価値があること

② 資料があり、自分の力で扱えること

③ 人と違うこと

例えば..「猫」がテーマだとしても「ネコの殺処分」と「ネコの起源と品種」「ネコはなぜペットになったのか」は全く違う研究になります。

A案

B案

決めてはみたものの「資料がない、情報が見つけられない!」ということも。その時は逆算!「テーマ」の方を再検討してみましょう。

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
4月21日 ～22日	・机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握する。	・探究テーマについて考える。
4月24日		・探究テーマをロイロノートで提出する。(一次提出)（※3）
4月27日	・担当生徒の共有（教員1名で13名前後の生徒を担当） →どの教員がどの生徒を担当するかを把握する。1名の教員につき、13名前後の生徒を担当する。	

※3（次項に続く）

この時点で探究テーマとして確立できている例（少数派）

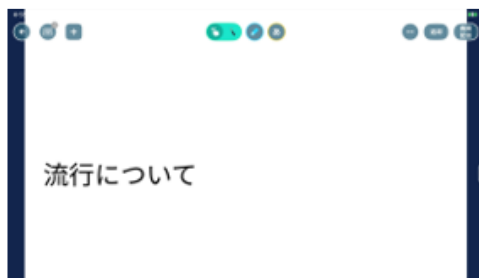
なぜ日本の食料自給率は上がらないのか

・なぜ若者は一般に政治に関心が低いとされるのか。

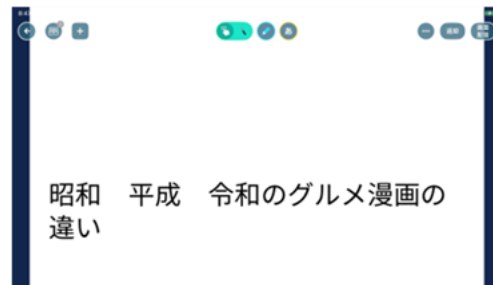
※ 3（前項の続き）

この時点で探究テーマとして確立できていない例（多数派）

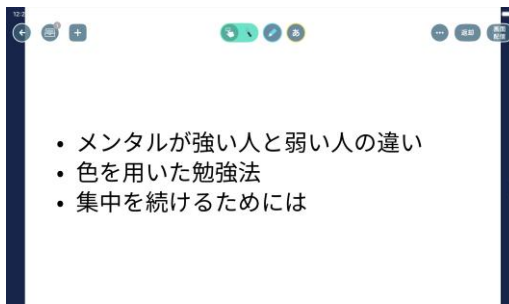
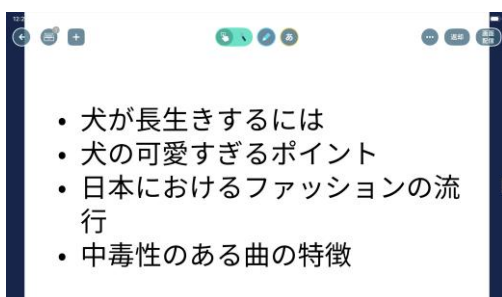
・ 単語のみ



・ 探究テーマとして学術的要素が欠けている



・ 関心事が多岐にわたり探究テーマとして絞ることができていない



(2) 5月の実践

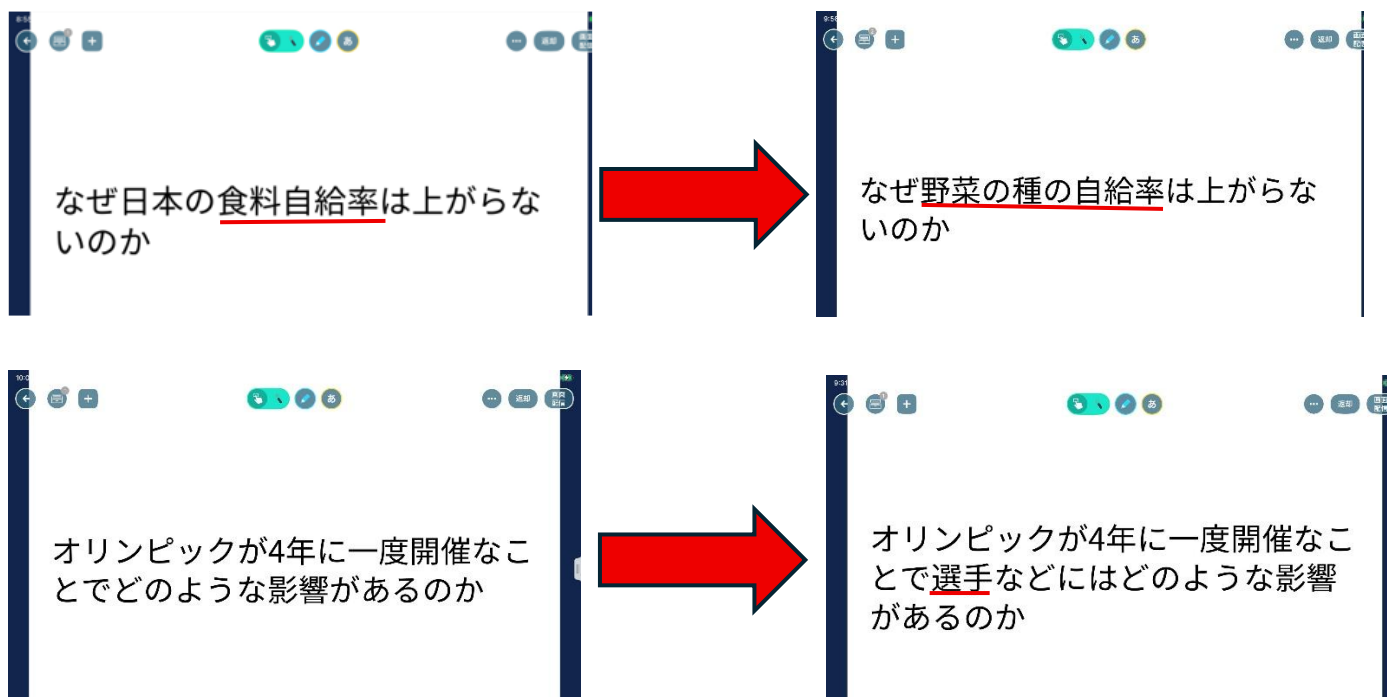
月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
4月28日 ～ 5月8日	・担当生徒と探究テーマについて対話 →進捗に応じた個別支援と探究テーマの精査を行う(※4) ・5月8日までに探究テーマを決定するよう周知	・担当教員と探究テーマの設定に関する進捗状況について話し合う ・5月8日までに探究テーマをロイロノートで提出する。<u>(最終提出と設定)</u>(※5)

※4



※5

→5月8日の時点で探究テーマを明確化できた生徒は約3分の2程度、明確化できていない生徒は約3分の1程度であった。以下の※5は、担当教員と話し合う中でより探究対象を具体的に絞ったテーマに設定することができた一例である。なお、まだ探究テーマが明確化できていない生徒には、5月末までに担当教員と話し合い、焦らずに探究テーマを決めていくことを示した。



月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
5月13日	・良質な情報を得る方法を説明 →良質な情報を得る検索方法をロイロノートで示す。 (※6) ・担当生徒と探究テーマについて対話 →進捗に応じた個別支援と探究テーマの精査を行う。 ・探究テーマが定まらない生徒には<u>焦らずに5月中に担当教員と話し合い決定する</u>よう周知し、柔軟な対応を示す。	・生徒は良質な情報を得る方法を理解する。 ・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。

※6

質の良い情報を得る方法① Web検索で、最後に“go.jp”や“ac.jp”、“co.jp”を打つ。 go.jpは国の機関を、ac.jpは大学を、co.jpは企業のURLです。これらを活用すると、個人発の怪しい情報を取り除くことができます。	質の良い情報を得る方法② 論文や学術文献を調べる。 GoogleスカラーやCiNiiなどの論文検索サイトを活用すると、自分の調べたい内容について研究した論文がヒットします。英語が得意な人は英語の論文も読んでみることをおすすめします
---	--

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
5月14日	・机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握し、助言する。	・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。
5月26日 ～28日	・机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握し、助言する。 ・アンケート作成時の助言 →担当教員は、生徒が作成した「絵文字を使うことで相手に与える印象」など探究テーマについてのアンケートを確認し、適宜助言を行い、実施の有無を判断する。	・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。 ・この時期から、一定数の生徒には「絵文字を使うことで相手に与える印象」など探究テーマについての<u>アンケート調査を実施する</u>。 (※7) ・アンケートに回答する。

※7（アンケートを実施した生徒数は18名。下記は一部、抜粋）

絵文字に関するアンケート

使い方はこちら

公開で印刷

匿名印刷

結果

Q4 「よく使う」、「まあまあ使う」と答えた人は主によく使う絵文字を3つ教えてください。

また使う場面や理由なども合わせて教えてください！

例) 感謝する時に👍を使う など

👍→良い感情の時に送ります

👎→了解や分かった時に送ります

🎂→ワイフや友人の誕生日の時に送ります

工夫その1

ロイロノートを活用したアンケートだからこそ回答できる質問

第一印象について

使い方はこちら

公開で印刷

匿名印刷

作成者 小泉 尚乃

質問数 4

Q4 (先生方のみ回答をお願いします。)

面接をする際第一印象がいい人・あまり良くない人とはどのような人ですか。

第一印象がいい人は身だしなみ・所作がきちんとしていることだと思います。特に服装は高校入試、大学入試、新卒入社採用試験で段階やその学校や会社にとって求められることが異なるかもしれませんが、最低限求められることは共通していると思います。逆にあまり良くない人は、それができない人だと思います。ぜひ、高校入試面接、大学入試面接、会社の採用面接で共通する面接時の服装やマナーを調べてみるといいと思います。

工夫その2

生徒だけではなく教員もアンケート対象とした

(3) 6月の実践

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
6月9日	・中間発表に向けた説明 →約1週間後に控えた中間発表に向けて、今後の予定と準備するもの（探究学習企画書）を伝える（※8）	・生徒は中間発表の詳細を理解する。
6月10日 ～11日、 16日	・中間発表に向けた進捗状況の確認 →中間発表に向けて、担当教員は生徒と探究テーマや大まかな内容、調査手法の確認を行う。	・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、中間発表企画書の作成に取り組み、16日までに企画書を提出する。（※9）

※8

6/9（火）共創の時間@各クラス
担任が6/17⑥に中間発表（1名1分）があることを伝え、6/16までに企画書を提出するように連絡する。

- 企画書の提出先は3学年全体提出箱
- 発表内容はテーマ・大まかな内容・研究手法について
- アンケートなどを実施したい生徒は事前に担当教員に相談し、許可を得た場合に実施可能。実施期間は18日以降とする

6/10（水）～11（木）共創の時間@廊下
探究担当教員が担当生徒と中間発表に向けて確認を行う
【確認内容】→1名1分、テーマ、進捗状況、企画書作成

～6/16 8:40まで（火）
生徒は企画書を3学年全体の提出箱に提出する

6/17（水）6時間目@各クラス
3A神戸・濱口 3B梅木・小林 3C坂間・並木・土田（各クラスの写真撮影）
①担任が中間発表の流れについて説明する

- 発表順は出席番号順
- 発表時間は1名1分厳守
- 発表内容はテーマ・大まかな内容・研究手法

②担任はタイマーを使って、時間を厳守させてください

探究学習 企画書

3年 組 番 名前

担当の先生

テーマ

キーワード

研究の背景

研究手法（文献調査は必ず行うこと、行う手法に○）
文献調査 アンケート調査 インタビュー調査
観察・実験

この手法を選んだ理由を具体的に

取り組みの上で課題になりそうなこと
どういふ部分を先生に相談したいか（箇条書き）

まとめ（研究の結果についての予測、この研究の意味づけ）

企画書は
ロイロノートで
生徒に配布し、
ロイロノートで
提出する。

※9（下記は中間発表に向けた探究学習企画書の一例）

→中間発表に向けて企画書を作成することで、自分の学習状況を振り返ることができた。また、進捗状況を把握することで、現時点の探究学習に対する疑問や不安を担当教員と共有することができた。

探究学習 企画書

3年 組 番 名前

担当の先生

テーマ

キーワード

研究の背景

研究手法（文献調査は必ず行うこと、行う手法に○）
文献調査 アンケート調査 インタビュー調査
観察・実験

この手法を選んだ理由を具体的に

取り組みの上で課題になりそうなこと
どういふ部分を先生に相談したいか（箇条書き）

まとめ（研究の結果についての予測、この研究の意味づけ）

探究学習 企画書

3年 組 番 名前

担当の先生

テーマ

キーワード

研究の背景

研究手法（文献調査は必ず行うこと、行う手法に○）
文献調査 アンケート調査 インタビュー調査
観察・実験

この手法を選んだ理由を具体的に

取り組みの上で課題になりそうなこと
どういふ部分を先生に相談したいか（箇条書き）

まとめ（研究の結果についての予測、この研究の意味づけ）

生徒は担当
教員と相談
することで
学習の悩み
を解消し、
学習に自信
をもって進
める契機と
なった。

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
6月17日	・ 中間発表の司会進行（司会は担任）	・ 企画書をもとに1人1分で中間発表を行う。（※10）

※10（中間発表の様子）



月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
6月18日 23日、 24日、 30日	・ 机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握し、助言する。 ・ アンケート作成時の助言 →担当教員は生徒が作成した「アルツハイマー型認知症のかかりやすさの違い・特徴と促進を遅らせる生活習慣について」など探究テーマについてのアンケートを確認し、適宜助言を行い、実施の有無を判断する。	・ 生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。 ・ 一定数の生徒には「アルツハイマー型認知症のかかりやすさの違い・特徴と促進を遅らせる生活習慣について」など探究テーマについてのアンケート調査を実施する。 ・ アンケートに回答する。

(4) 7月の実践

月日	教員の指導	生徒の取組又は活動実績
7月1日 2日	・机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握し、助言する。 ・アンケート作成時の助言 →担当教員は生徒が作成した「音楽の有無・種類が学習効率に与える影響について」など探究テーマについてのアンケートを確認し、適宜助言を行い、実施の有無を判断する。	・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。 ・一定数の生徒には「音楽の有無・種類が学習効率に与える影響について」など探究テーマについてのアンケート調査を実施する。 ・アンケートに回答する。
7月3日	・最終発表に向けた説明 →約2か月後に控えた最終発表に向けて、今後の予定と課題、準備するもの（スライドと原稿）を伝える（※11）	・生徒は8月7日までに課題2点を提出することを理解する。 ・最終発表の準備物を理解する。
7月7日 ～9日	・机間指導 →探究学習に関する生徒の悩みや状況を把握し、助言する。 ・アンケート作成時の助言 →担当教員は生徒が作成した「話しかけやすい人の特徴～そこから話しかけやすい存在になるためには」など探究テーマについてのアンケートを確認し、適宜助言を行い、実施の有無を判断する。	・生徒は必要に応じて担当教員と面談し、探究学習を行う。 ・一定数の生徒には「話しかけやすい人の特徴～そこから話しかけやすい存在になるためには」など探究テーマについてのアンケート調査を実施する。 ・アンケートに回答する。

※11

7/15（水）アンケート調査締切	夏休みの宿題について	最後に
8/7（金）スライド・原稿完成 夏休みの宿題提出締切	・提出期日は8/7（金）9時まで ・提出物は2つ ①プレゼン自撮り動画（4分30秒以上5分以内） ②発表スライド・録音付き（4分30秒以上5分以内） ・提出物① →原稿を暗記し、前向き、きちんとした声量でプレゼン発表できるよう練習したものを提出すること。 ・提出物② →原稿を読む練習をして、スライドごとに原稿を読み、録音したものを提出すること	*スライドについて ・何枚でも構いませんが、4分30分以上5分以内に収めてください。 ・スライドは初めて見る人が分かりやすいように工夫してください。 *原稿について ・4分30分以上5分以内に収めて字数や読みかたを調整してください。 ・初めて聞く人が聞きやすいように声量に気をつけてください。 *本番ももちろん原稿暗記で、スムーズにプレゼンをしてもらいます。下級生の模範・カッコいい先輩であるよう、準備・練習に努めてください。
9/2（水）⑤⑥発表練習		
9/3（木）⑥発表練習		
9/4（金）⑤本番（2年生・I組対象） ⑥本番（1年生対象）		

(5) 成果と課題

ア 成果

教員1名あたり生徒約13名を割り当てる学年体制を整え、学年教員や学校図書館支援員との連携によりテーマ設定や良質な情報検索指導を行った点である。教員との対話や1分間の「中間発表」と企画書作成を通じ、学年全体でテーマの絞り込みなど生徒の進捗や不安を把握しながら組織的に伴走・支援を行うことで、生徒の探究学習を円滑に推進することができた。

イ 課題

初期のテーマ設定段階に時間を要したことに加え、安易なネット検索による単なる「調べ学習」ととどまったことが多数見られた点である。進捗の個人差に素早く気づき、すぐ対応し、より早期に適切な「問い」へと絞り込ませる個別指導の方法の改善が必要である。今後は問いを立てる際の思考ツールの導入や考察を促す発問の改善等に取り組んでいきたい。

3 探究学習の指導手順

フェーズ順：テーマ設定期 → 情報収集期 → 分析・考察期 → 発表準備期

フェーズ	チェック項目（問い）	NO の場合の指導対応（アクション）	判定
テーマ設定期	1 関心・興味があるか？	NO: 興味を引き出す面談	YES ↓
	2 問いとして文章化されているか？	NO: 「なぜ？」で具体化 思考ツールを活用	YES ↓
	3 テーマは広すぎないか？	NO: 対象・地域・年代を限定	YES ↓
	4 調査可能な問いか？	NO: 問いを修正	YES ↓
情報収集期	5 情報源を確保できるか？	NO: 学校図書館支援員と連携・良質な 情報検索	YES ↓
	6 調べ学習になっていないか？	NO: 何が分かったかに留まらず、「なぜ そうなるのか」「だからどうする のか」まで考えさせるような発問	YES ↓
分析・考察期 ～ 発表準備期	7 根拠は十分か？	NO: 追加調査	YES ↓
	8 結論は問いに答えているか？	NO: 問いと結論を再整理	YES ↓

発表・ふりかえりステップ：中間発表 → 最終発表 → 振り返り

4 おわりに

本報告では、「自己選択学習の時間」に取り組んでいる第3学年探究学習の4月から7月までの実践経過と、それを通じて得られた成果と課題、および今後の指導の参考となる指導手順をまとめた。

教員1名あたり約13名を担当する指導体制のもと、教員や学校図書館支援員との連携、質の高い情報検索法の指導、そして「中間発表」や企画書作成を通じた1対1の対話に取り組むことで、生徒が自ら問いを立てて調査に向き合う伴走・支援の方向性を確立することができた。

一方で、初期のテーマ設定に時間を要した点や、安易なネット検索による単なる「調べ学習」にとどまってしまった生徒への早期の軌道修正を図る指導など、今後解決すべき指導上の課題も浮き彫りとなった。

現在、生徒たちは夏休みの提出物であるプレゼン動画や録音付きスライドの作成に取り組み、9月4日に控える「最終成果発表会（下級生向け本番）」に向けて準備を進めている。下級生の模範となる堂々とした発表を作り上げられるよう、中間報告で明確になった課題を踏まえ、本番直前まで丁寧な個別の助言と練習指導を継続していきたい。